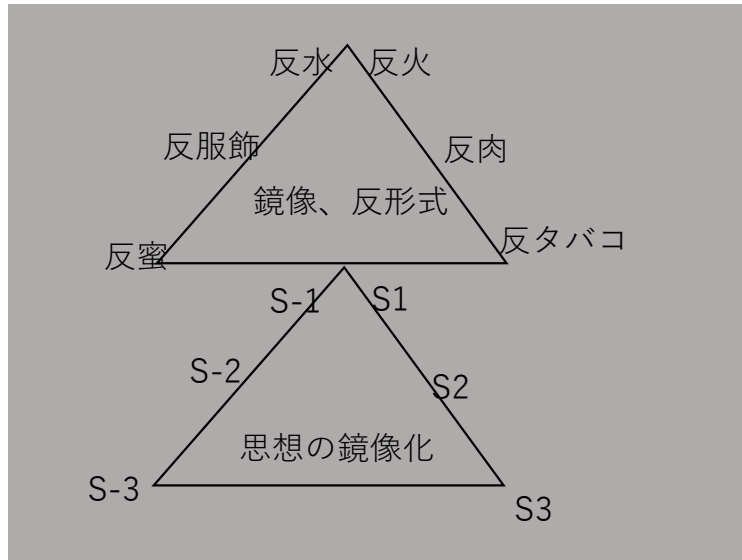


神話の実像・鏡像 ラセミスム (レヴィストロース神話学「裸の男」から)

鏡像
逆位



Racemisme ラセミスム鏡像化；

- 1 Racémique : 葡萄糖、Forme d'une substance compose d'un mélange moléculaire égal des deux inverses optiques (stereo-isometre) 光学的に左右逆転 (stereo-isometre) した2の分子構造集体。これをracemismeとレヴィストロースが命名(したらしい、未検証)
- 2 神話学でのArmature du mythe (上下三角形) は鏡像化する (ラセミスム)
- 3 上三角(思想) に鏡像化が発生、これはヒトの原初的思考方法から来ている (dialectique、弁証法あるいは演繹により、正位に逆位を対峙させる思考手順)

Racemisme ラセミスム鏡像化の実例；

- 1 英雄イシス (M538、本書42頁) に対して反英雄アビ女 (M546、同79頁) は鏡像逆位。下三角の比較；竈の火、肉、タバコの挿話にたいし反火 (滅ぼす火)、食えない肉(水鳥アビ)、パイプを破壊するなど、文化対アンチ文化が読み取れる。
- 2 モンマネキ神話 (M354食事作法の起源17頁) と月の嫁 (M425同書170頁) にも鏡像化が発生している (同書174頁)。両者の共通主題は同盟の確立、ながら逆位の行動が進行する。
- 3 日本書紀古事記の高天原神話 (アマテラス対スサノオ) においてもラセミスムが見られる。文化 (農耕と社会) 方向に向かうアマテラスにたいしスサノオは天津罪 (水田灌漑施設の破壊など) で反文化行動を拡げる。

実像
正位

